

秩父御岳山

2015年9月12日（土）

前回（8月28日）の奥多摩御岳山（みたけさん）に次いで、今回は秩父の御岳山（おんたけさん：1081m）である。木曾御嶽山の開祖である普寛上人が、故郷の秩父落合（普寛神社がある）にある御岳山（おんたけさん）を開山した。今回の秩父御岳山に参加は岡部さん、小山さん、布目さん、熊本の4名である。



西部池袋駅 7:05 発の快速急行三峰口行の直通列車に乗り、西部秩父駅まで殆どの客は降りてしまった。



2時間10分で三峰口に到着（9:17）。下車したのは我々4人の他に数名のみ。駅構内のベンチで登山準備



恒例のストレッチ体操で準備運動を軽く流して 9:30 に出発する。



荒川を白川橋で渡り、右折し「贊川（にえがわ）宿」の標識に従い左折すると大きな観光トイレがある。ここが登山口の入口で、昔はここに「山岳救助隊駐屯地」があった。（駅から徒歩 15 分弱）



御岳山登山口の標識が現れ、舗装道路から解放され、狭い山道になる。(9:50)



今日は風がなく蒸し暑い。
登り始めて直ぐに大粒の汗が流れ落ちる。



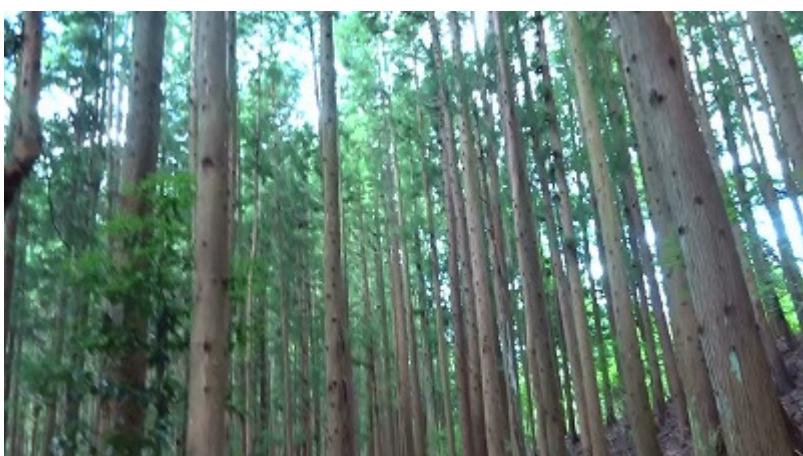
イキナリの急登連続になる。



歩き始めて 30 分で丁度 10 時に、「一番高岩（たかや）」に着き、給水タイムをとる。高岩は合目のことか？



更に急登を進むと二番高岩に到着するが、休まず先に進む (10:15)



やがて杉、檜の樹林帯となり日差しは遮られたが風がなく暑い。 (10:25)



暑さに弱い布目さんは遅れ、後を追いかけている。
三番高岩で布目さんを待つ。
(10:35)



布目さんが合流し、更に急登を進む



出発して約2時間で尾根に出る。

御岳山と猪狩山との分岐だ (11:35)

当初、この辺りで昼食の予定であったが、狭いため、山頂に行って昼食に変更した。

猪狩の名が付いていることからさぞかし、イノシシが多く生息しているのだろう。



尾根に出たが、痩せ尾根で、急登が続く。



2, 3日前の台風の影響か、沢山の倒木が登山道を塞ぎ、ヤブコギで大きく迂回することになった。



登山道でない崖を登り、なんとか正規の登山道にでる。更に傾斜がきつくなり、登り詰めると、鐘の声が聞こえた。 山頂の祠の鐘だ！頂は近い、頑張ろう！



ほぼ予定のコースタイムで山頂に到着した。(12:20)

山頂には落合から登ってきた 6, 7 人のパーティーがいたが、昼食の場所を探しに下に降りていった。



この祠には秩父御嶽山と書かれていた。(木曾御嶽山に因んでか?)

山頂には山頂三角点の標柱があった。



山頂から両神山、二子山更に西上州の山並みが見渡せるはずだが、ガスと雲で遠望はなく、あまり確認できなかった。



誰もいなくなった参道の石段に座り込み、遅い昼食にした。



登頂記念の写真



登ってきた登山道を少し戻り、落合、強石の方向に下山する。(13:00)

後で分かったが、本来は来た登山道を戻らずに、山頂を超えた先の下山道を取るべきであった。



約1時間下ったところに標識があり、下山道を間違えたことが分かった。

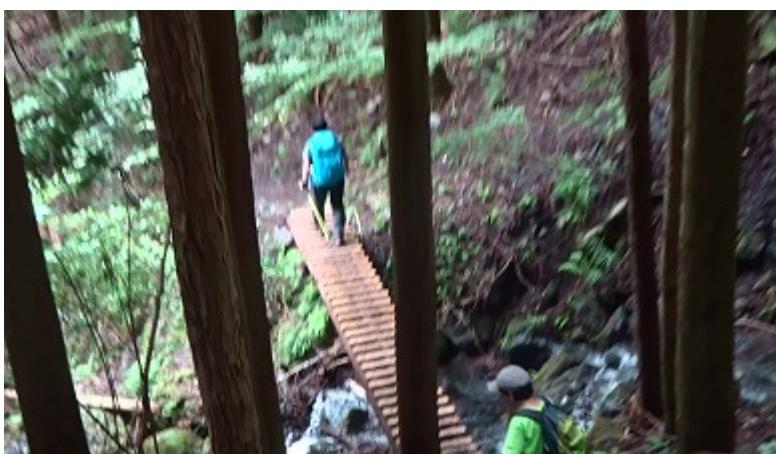
この下山道は強石へ降りる登山道であり、遠回りであるが、我々は「杉の峠」分岐で落合へのコースを取ることになった。(14:00)



スピードアップして遠回りの時間をセーブする。



杉の峠の分岐に 14:30 に到着し、落合へ向かう。



ここまで来れば、もう落合の集落は近い。



14:52 に普寛神社に到着し無事下山のお礼参拝をして温泉に向かう。



道の駅の大滝温泉「遊湯館」に当初計画より 10 分遅れで到着した。



温泉はガラ空きで汗を流し、冷たいビールで乾杯！



西部秩父行のバスに乗り、特急に乗り替えて帰路につきました。
秩父御岳山はキノコの山で、数えきれないくらいで会いました。

今日登山道で出会った花々やキノコを下記に一覧にした。



シユウカイドウ、曼珠沙華、ホトトギス、ギンリョウソウの群生などの花々があり、下図は出会ったキノコです。

